



2019年11月13日

各位

会社名 株式会社 ヤシマキザイ
代表者名 代表取締役社長 高田一昭
(コード番号: 7677 東証市場第二部)
問合せ先 執行役員管理本部長 阿部昌宏
(TEL 03-4218-0096)

2020年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年9月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期(累計)期間業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,183	百万円 ▲42	百万円 10	百万円 16	円 銭 5.97
実績値(B)	15,440	66	120	84	30.95
増減額(B-A)	257	108	110	68	
増減率(%)	1.7	-	1,100.0	425.0	

(注) 当社は、2019年3月期第2四半期(累計)については、金融商品取引法に基づく財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期(累計)実績は記載しておりません。

2. 差異の理由

売上高

前回予想発表時より、当社単体で受注している案件において、下半期から上半期へ納期及び計上時期がシフトするものがあったため、第2四半期累計期間の連結売上高は、前回発表時の15,183百万円を上回る結果となりました。

営業利益

前回予想発表時より、販管費の変動はありませんでしたが、連結売上高が上回ったことに伴う売上総利益の上昇と、比較的売上高総利益率の高い案件が上半期の計上に繋がったことにより、第2四半期累計期間の連結営業利益は、前回発表時の▲42百万円を上回る結果となりました。

経常利益

前回予想発表時より、営業利益が上回ったことを受け、第2四半期累計期間の連結経常利益も、前回発表時の10百万円より上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

前回予想発表時より、経常利益が上回ったことを受け、第2四半期累計期間の親会社株主に帰属する当期純利益も、前回発表時の16百万円より上回る結果となりました。

なお、2020年3月期通期業績予想においてはこれらの影響が軽微なため、据え置きとさせていただきます。今後、業績予想修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定です。

以 上